

# GX率先実行宣言

社会全体のGX加速化に向けて、GX製品・サービスの早期社会実装が極めて重要であることから、当社は自らのScope 1、2の削減取組に加え、これらの製品・サービスが有するGX価値の評価を通じてGX製品の社会実装に積極的に貢献することで、サプライチェーン全体でのGXを推進することを宣言します。

## 1. 早期の社会実装に貢献するGX製品

当社は、以下に関連するGX製品の早期社会実装に貢献します。

a.	分類	産業競争力基盤強化商品
	対象	グリーンケミカル

## 2. 具体的な行動内容

当社は、前項で選択した事項に関連して、具体的には以下の行動を推進することで、GX製品の早期社会実装と社会のGXに貢献します。

a.	グリーンケミカル
対象行動	中間・最終製品製造
概要	当社が生産する吸水性樹脂（以下SAP）について、グリーンケミカル（バイオマス）由来の原料を使用したアクリル酸を使った SAP を製造することについての ISCC PLUS 認証（マスバランス方式）を取得しています。当該アクリル酸の環境価値を適切に評価し、積極的な購入を行うことで、当社が製造するSAPのサプライチェーン全体でのCO2排出削減を推進するとともに、安定的かつ持続可能なグリーンケミカルの供給体制構築を支援します。

## 3. サーキュラーエコノミーの推進

当社は、サーキュラーエコノミーを推進しGXを実現するため、自らのサーキュラーパートナーズ（CPs）への参画や、製造業者と廃棄物リサイクル業者との事業連携を自ら進めるとともに、再生材の調達を積極的に検討することによって、新たな資源の使用や消費を最小限に抑え、既存の資源の価値を最大化する経済システムの構築を目指します。

## 4. 温室効果ガス削減目標の設定

当社は、サプライチェーン全体でのGXを推進すべく、Scope3の削減に向けて以下の目標を設定します。また、第2項に記載した行動内容が、Scope3の削減に対してどのような効果があるかを以下に示します。

※ 第2項に記載した行動内容がScope1,2の削減に資する場合は、Scope1,2の削減に関して以下に示します。

a.	グリーンケミカル
削減対象	Scope 3（カテゴリ1）
目標年度	2033年度
基準年度	2022年度
目標削減率	32.5%
削減目標における選択対象の位置づけ	グリーンケミカル由来で製造されたアクリル酸を原料として使用することは、当社のスコープ3（カテゴリ1）の排出削減を実現し、当社のスコープ3における排出削減率32.5%（カテゴリ1及びカテゴリ12、2033年度目標）に直接的に寄与します。

## 5.GX製品の社会実装促進に向けた目標の設定

当社は、前項に掲げた削減目標に基づき、以下の時間軸・定量的目標に沿って、第1項で選択したGX製品・技術及びそれらから派生するサービスの社会実装に貢献します。

a.	グリーンケミカル
目標年度	
定量的目標	
選択対象に関する定量的目標の概要	

## 6.適用範囲

当宣言は、以下の範囲まで適用されます。

適用範囲	自社単体
------	------

当社は、この宣言に基づいてGX価値を評価し、GX製品の早期の社会実装に貢献することで、サプライチェーン全体でのGXを推進してまいります。

2026年3月23日

住友精化株式会社  
代表取締役社長 織田 佳明